

一般質問



渡邊正俊 議員

海外視察

①町長は、12月定例会において、イギリス視察の特別旅費を計上しましたが、今回この視察の、目的、行程及び訪問先を伺います。
②今回の視察研修が当町の復興、発展にどのように寄与するのかを伺います。

渡邊

復興・発展にどのように寄与するのか
町長／新たな共生社会の実現に向けた復興創生を展望

町長

①目的は、本町が復興再生から長きに渡る創生に向けて展望を図るものです。
行程は、3月17日から8日間、訪問先は、廃炉産業が集積しているセラフィールドの視察、UCL大学等のプレゼンテーション、英国原子力廃止措置機構理事等への表敬訪問、ロンドンしゃくなげ県人会等の懇談です。
②本町は、イノベーション・コースト構想による産業集積を支える生活拠点を捉え、人材育成の展望を図り、人の流れを創出する施策から、新たな共生社会の実現に向けた復興創生を展望し、町の発展に寄与していきたいと考えています。

火災報知器

100%設置に向けた対応は

町長／助成制度を定め取り組む



家庭用火災報知器

①家屋火災による痛ましい犠牲者があとを絶たず、火災警報器の未設置が指摘されていますが、当町の設置率は。
②100%設置に向けた取り組みと、警報器購入助成制度等を設けた早期対応の考えはありますか。
③高齢者世帯の未設置家において、依頼を受けて取り付けを行うことはできませんか。

渡邊

町長

①双葉地方広域市町村圏組合消防本部において、町内の75歳以上の独居世帯、高齢者世帯を対象とした火災警報器の設置状況調査から、設置率は85・5%となっています。
②町広報誌、ホームページへの掲載、防災行政無線での周知等に取り組んでいます。
今後、火災警報器設置助成制度を定め、100%設置に向けて取り組みます。
③広野町社会福祉協議会の「広野町在宅福祉サービスマネジメント」での、軽度生活援助サービスにより火災警報器を取り付けることができます。

塩

町長

JRと駅周辺整備に関する基本協定を締結し、西口駅前広場やトイレ整備、バリアフリー化等に取り組むこととなりましたが、
①JRとの基本協定はどのような協定になっているのですか。
②バリアフリー化に取り組むことは、どこをどのように改善し、また、これからどこをどのように変えるのですか。

①駅舎の将来形の協議、駅周辺のバリアフリー整備、駅前西口広場の再整備等を計画する中で、相互に情報共有や意見交換に努め、駅を中心としたまちづくりによる、相互の持続的な発展を目的とした基本協定です。
②駅構内こ線橋、未来のかけ橋にエレベーターを整備するための設計を実施します。

ホームと車両の段差解消は、平成32年3月に向けてJR東日本が取り組む予定です。
また、JR東日本はホームの雨除けの設置と駅構内こ線橋の改修を完了しています。



100歳体操（亀ヶ崎集会所）

また、保健センターでの、運動教室開催やトレーニングルーム内の環境を整備します。健康寿命の延伸、長寿を目標に、健康活動に対してポイントが貯まる「ひろの健康ポイント事業」や、健康づくり自主活動、普及啓発に努め定着に取り組みます。

お達者度

県最下位を脱する取り組みは

町長／支援と環境整備で健康づくりに努める

塩

町長

①我が広野町は「お達者度」では県下で最も低い結果であると公表されました。
このお達者度という指標はどんな基準でどんな対象で順位がつけられるのですか。
②お達者度最下位を脱するために、どのような取り組みをする考えですか。

①県は、「65歳からの日常生活が自立している期間の平均」をお達者度（健康寿命）として算定し、3年間の住基人口、死亡数や介護認定者数を使用しています。
②健康や食に関する広報活動、保健師等による訪問指導、肥満指数（BMI）が25以上の40歳から50歳の方に、Jヴィレッジ・スポーツジム月額利用料金を一定の条件のもとで助成します。
また、保健センターでの、運動教室開催やトレーニングルーム内の環境を整備します。健康寿命の延伸、長寿を目標に、健康活動に対してポイントが貯まる「ひろの健康ポイント事業」や、健康づくり自主活動、普及啓発に努め定着に取り組みます。

一般質問



塩 史子 議員

バリアフリー化をどのように取り組むのか

町長／エレベーターを設置し環境を整備する